

文化・芸術

〈名画の扉〉

大川美術館特別展示
「無言館」の作品から

今週末まで開催中の間が伝わってきます。特別展示「無言館」の 今回の特別展示は、作品では、群馬県出身の大川美術館で戦時下をの戦没画学生、関口清（1919～45年）と並べてみたいという無言館主・窪島誠一郎（1919～45年）の作品も紹介しています。2人はいずれも東京美術学校で学びながら、戦争によって若くして命を落しました。松本竣介・野田英夫のコレクション展示とあわせ、ぜひご覧ください。企画展「野見山が並びます。画家としての未来を願いながら制作された絵からは、断ち切られた日常の時

（小此木）

「展示風景」

小林紀春「妹の像」制作年不詳、
太田章「妹・和子の像」1941年ごろ、
大倉裕美「S嬢」制作年不詳、
関口清「おっかさん」1934年ごろ

写真左から

